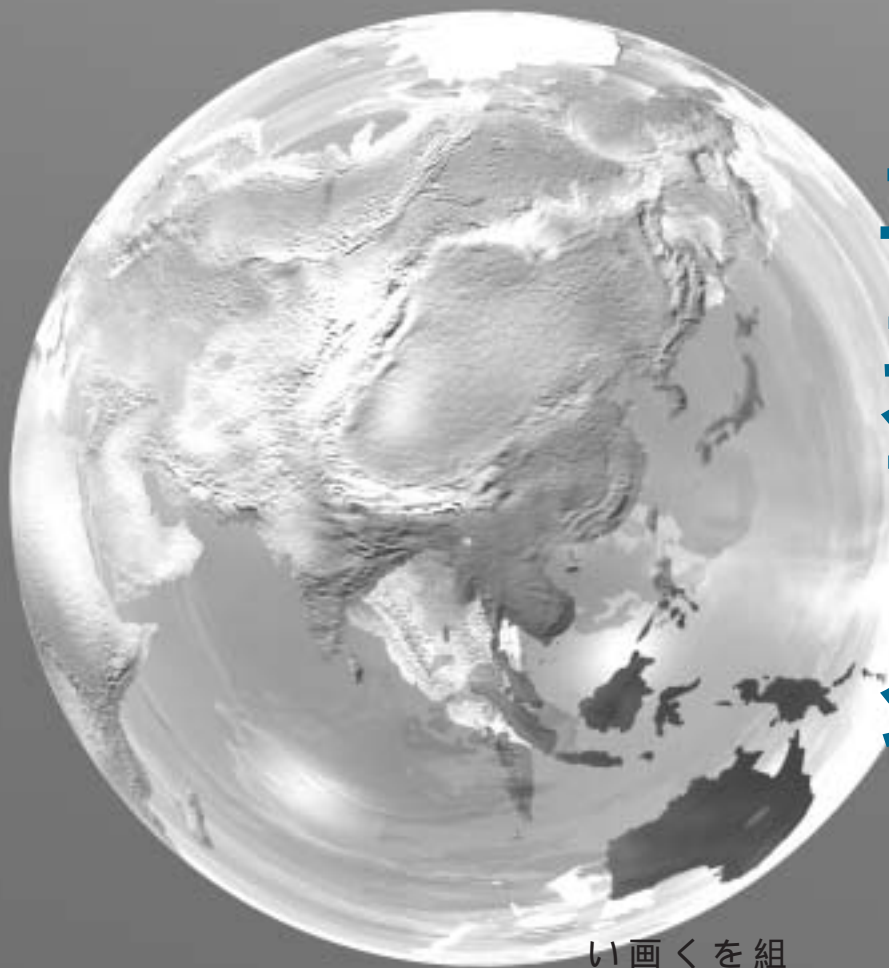


環境にやさしい

エコオフィスづくりを目指して



市では、自らが率先して環境保全に取り組むために「成田市環境保全率先実行計画」を策定し、環境にやさしいエコオフィスづくりを目指しています。本号では、この計画に基づく市の環境保全への取り組みについてお知らせします。

年々増大する 地球規模の環境問題

近年の大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済活動や生活様式は、環境への負荷を増大させ、自動車排出ガスによる大気汚染や生活排水による水質汚濁など都市・生活型環境問題、さらには、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨など地球規模の環境問題を引き起こすまでに至っています。中でも地球温暖化は、地球全体で次のような影響を及ぼし、わたしたちの生活にも大きな影響を与えると考えられています。

地球温暖化とは

大気中の二酸化炭素、メタン、一酸化窒素などの温室効果ガスの大気中濃度が増加し、これに伴って太陽からの日射や地表面から放射する熱の一部がバランスを超えて温室効果ガスに吸収されることにより、地表面の温度が上昇する現象。

- 海面水位の上昇に伴う陸域の減少
 - 豪雨や干ばつなどの異常気象の増加
 - 生態系への影響や砂漠化の進行
 - 農業生産や水資源への影響
 - マラリアなど熱帯性感染症の発生数の増加
- ## 環境保全に 市が率先して取り組む

このような環境問題を解決していくためには、今までのライフスタイルや事業活動を見直し、環境保全に積極的に取り組んでいく必要があり、国際的にも全国的にもさまざまな取り組みが行われてい



エコオフィスづくりが進む市庁舎

温室効果ガス総排出量を 2.3%削減

この計画は、本市すべての事務・事業を対象とし、平成14年度から18年度までの5年間の計画期間としています。

計画では、平成18年度における温室効果ガス総排出量を、12年度（基準年度）と比較し、2.3%削減することを目標としています。さらに、温室効果ガス総排出量の削減を含めた環境負荷低減のた

ます。本市においても、市自身が率先して環境保全に取り組み、環境にやさしいエコオフィスづくりを目指して、「成田市環境保全率先実行計画」を策定し、実践してま

環境負荷低減のための取り組み項目

分類	主な取り組み内容
省エネルギー・省資源・リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ○ 始業前、昼休み、残業などの時間の照明は、必要な個所のみ点灯する ○ 空調の設定温度は、適正温度（夏28度、冬20度）にする ○ 近い階への移動は、エレベーターではなく階段を利用する
公用車	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公用車の使用状況を把握し、適正配置、台数見直しを行う ○ 公用車の購入、更新のときは「成田市グリーン購入基本方針」に基づき購入するとともに、それ以外の場合も七都県市指定低公害車の中から選択、購入する ○ エコドライブを実施する
財やサービスの購入・使用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「成田市グリーン購入基本方針」に基づいた物品などを購入する ○ ファイル、バインダーなどの事務用品を再使用、長期使用する ○ 外部印刷物には、使用した用紙の古紙配合率、白色度を表示する
公共施設の建設、維持、管理など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設材料は、再生資材または再生できるものを使用するよう促す ○ 建設副産物の発生抑制、適正処理、有効利用を推進する ○ 低公害型建設機械の導入、使用について協力を要請する

環境マネジメントシステムで進行管理

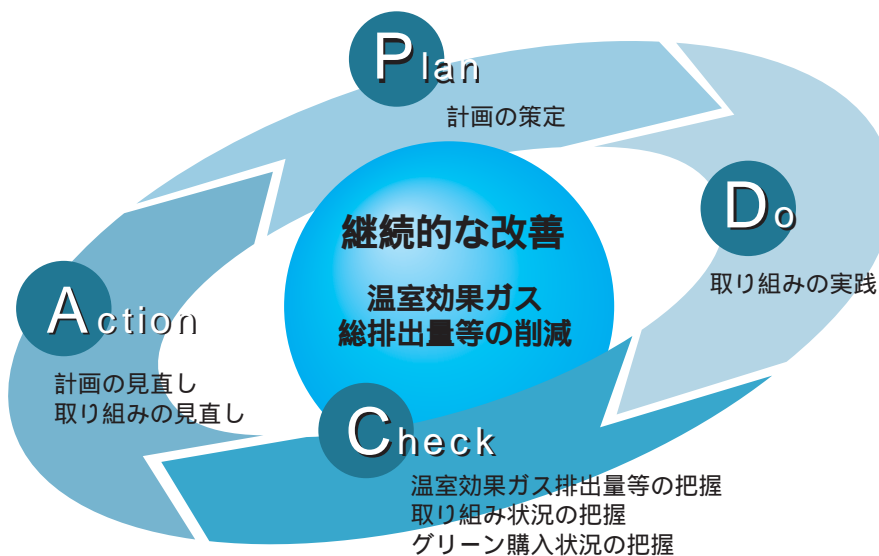
計画の実効性を高め効果的な推進を図るため、環境マネジメント

めの取り組み項目は左表のとおりです。

システム（下図参照）の考え方を取り入れ、PDCAサイクルによる継続的な改善を基本とした推進体制の整備と進行管理を実施していきます。

また、毎年度の進捗よく状況については、広報紙やホームページなどで公表します。

環境マネジメントシステム概念図



環境保全ための取り組みとして、本市ではすでに、省エネルギー機器の導入、低公害車の導入、市庁舎での雨水の利用や庁内リサイクルなどの環境配慮行動を実施しています。

また、職員意識調査などの結果からも、昼休みの消灯による電気使用量の削減や、給湯室・トイレでの節水など、環境に配慮して事務・事業を実施していることが見受けられます。

そして、さらに一人ひとりが率先して取り組んでいくことにより、目標の達成を目指していきます。

「成田市環境保全率先実行計画」について詳しくは環境計画課（☎20 15333）へ。